

才高き人
斷



春風やみて流る水長し 士明

秋の明家度舟新し妻如山 笑九

春乃曇やあま夜も月もみらぬ 竺儒

病を写む起る好もあ妻の雨 紅於

古狩野や中うのりちま雉のさき 沖町

ひらこといはれしものさか 鱉の我 亀洲

門さびやあめぬけを啼くはら 飛良

陽を乃妻の葉をこよ小雀も那 君平

妻のうらみ鷗を月を最あうはる 月居

